

# 誌上 ケース検討会

全国各地で行われている事例検討会の模様を誌上で再現します。  
検討会及び事例の内容は、プライバシー保護の観点から、  
全体の主旨に差し支えない範囲で変更させていただきました。

●スーパーバイザー

日本福祉大学教授

野中 猛 Nonaka Takeshi

86

## 知的障害をもつ20代の男性と 統合失調症の母、70代の父の生活支援を考える

### ●事例提出者

Gさん（J病院・PSW）

（地域で定期的に事例検討会を  
続けているグループのメンバー）

### ●クライアント

Aさん（21歳・男性）

### ◆傷病名等

精神発達遅滞、てんかん。療育手帳2級取得。

### ◆家族状況

母親（45歳）、父親（70歳）と同居。きょう  
だいはいない。

母親は統合失調症のため本人と同じ病院に通院  
中。障害年金を受給している。整容面はかなり汚  
く、病院の外来に来ると、待合室が臭いで充満す  
る状態である。

父親は現在無職。数年前まで露天商をしてお  
り、仕事の関係で家を空けることが多かった。

### ◆経済状況

本人と母親の障害年金のほか、生活保護を受給  
している。

### ◆かかわっている機関・サービス

J病院（PSW、訪問看護）、通所授産施設、地

域活動支援センター、ホームヘルプサービス、障  
害者情報センター

### ◆生活史・病歴等

昭和62年（1歳）療育手帳を取得。

平成4年（6歳）小学校入学（特殊学級）。この年、  
母親が受診し統合失調症の診断がおりる。

平成8年（10歳）ボヤ騒ぎで家が住めなくなり、  
現在の住居へ転居。生活保護受給開始。

平成10年（12歳）中学校入学（特殊学級）。こ  
の頃から家の中で暴力を振るい、物を買わせる行  
為がみられるようになる。粗暴行為に悩んだ両親  
が児童相談所へ相談した結果、入寮できる養護学  
校へ入校することとなる。両親と離れて生活した  
3年間は粗暴行為は見られず、学級委員長を務め  
るなどリーダー的な存在として周囲との関係も良  
好であった。

平成13年（15歳）養護学校高等部入学。

平成15年（17歳）メンタルクリニック受診。こ  
の頃、携帯電話料金の未払いがふくらみ、携帯電  
話の使用をあきらめる。

平成16年（18歳）養護学校卒業後、地元の食料  
品店に勤務。1カ月で退職となる（母親が本人の  
ことが心配のあまり、朝から夜まで店長の自宅に  
電話をかけたため）。

平成17年（19歳）通所授産施設への通所を開始。  
2カ月後、自宅へ灯油をまき放火未遂をおこす。

そのため、2週間J病院へ入院。

平成18年（20歳）家族への粗暴行為により、1月30日～2月12日まで任意入院。同じく粗暴行為により、5月7日～6月28日まで医療保護入院。退院後、J病院の訪問看護を利用開始。

#### ◆PSWの援助経過

5月7日の入院からかわり始め、退院後も在宅生活支援を継続して行っている。現在、かわり始めて約半年が経つ。Aさんに合ったプランを立てて支援に取り組み、試行錯誤の最中である。

## ケース検討会

### ケースの全体像をつかむ

**野中** ありがとうございます。知的障害をもつ21歳の男性。てんかんの既往があり、母親も統合失調症を抱えていて、70歳になる父親と3人暮らしというケースですね。まずは客観的な情報をそろえて、それから具体的な支援の手立てを考えていきたいと思います。情報を集める段階では、主観は入れずに質問をしてください。では、今プレゼンテーションしていただいたほかに、どんな情報があるといいでしょう。

**発言** 基礎的なデータですが、ご本人の身長・体重を教えてください。

**Gさん** 身長は175cmくらい、体重は65kgぐらいだと思います。どちらかというと痩せ型ですが、骨太な印象はあります。

### 本人の能力について

**発言** コミュニケーション能力はどのくらいあるのですか？

**Gさん** 気分が乗っているときは、わりに返答がありますが、だいたい「え～」「あ～」と言って、返答までにすごく時間がかかります。質問の内容が少し抽象的なものになると、「ちょっとそれは難しいんですけれども」といった答えが返ってきます。

**発言** 読み書きはできますか？

**Gさん** インターネットはされていて、メールもできます。自分でホームページも開いています。

**会場** へーっ！！

**野中** 文章は漢字交じりですか？

**Gさん** 漢字も交ぜて書いています。文面はふつうの21歳よりも幼い印象は受けますが、意味はきちんと通る文章になっています。

**発言** IQはわかりますか？

**Gさん** 平成9年は61でしたが、平成16年の検査では46となっています。

**野中** 言語性と動作性は聞いていますか？

**Gさん** そこまでは記録にありませんでした。

**野中** この21歳の青年Aさんを理解しようとした場合、純粋に知的な問題なのか、てんかんが影響しているのか、環境に要因があるのか、生育上の問題なのかを知ることが重要で、そのためにはIQの下スケールまで入っていかないと見えてこないのです。本来、心理職はそこまで伝えなければいけませんし、こちらで勉強して要求していくことが大切です。

**Gさん** わかりました。今後、気をつけたいと思います。平成16年のIQは私どもの病院でとったものなので、カルテを見れば細かく書いてあると思います。

**野中** 作業能力はどのくらいあるのですか？

**Gさん** 授産施設では3段階に作業能力を分けていますが、真ん中のカテゴリーに入っています。

**野中** いいほうですね。

**Gさん** はい。ただ、時々集中力を欠いてしまうことがあります。

**野中** どんなときですか？

**Gさん** 自分が興味をもてるかどうかで変わります。工賃が高くて、興味を持たない作業だと、「頭が痛い」とか「おなかが痛い」と言って休むことが多いようです。でも、興味の湧く作業だと集中して取り組んでいます。

**野中** ホームページを立ち上げたり、おもしろがって取り組む力はもっているようですね。自分の身の回りのことは自分でできるのですか？

**Gさん** 調理はほとんど経験がないと思います。洋服もいつ買ったのかわからないようなものを着ています。セルフマネジメント能力は決して高くはないですね。

**発言** 整容の状況はいかがですか？

**Gさん** 入浴は週に1回、ヘルパーさんが来てくれるときに入っています。ふだんはTシャツに穴はあき、帽子は薄汚れ、ズボンはいつも同じものをはいています。一言でいえば汚いです。

**発言** 両親も入浴はあまりしないのですか？

**Gさん** お母さんはほとんど入っていないと思いますが、お父さんは毎日お風呂を沸かして入浴していて、非常に身ざれいにしています。

**野中** ということは、本人も毎日入浴しようと思えばできる状況にはあるということですね。

**Gさん** はい。

**発言** 経済面では、毎月いくらもらっていて、どういった使い方をしているのでしょうか。

**Gさん** 授産施設からの給料が月に5000円ほどです。それと、土日に毎週5000円もらっていますので、月額2万5000円といったところです。

**野中** 毎月その額でやりくりしているのですか？

**Gさん** 必ずしもそうではなく、新しい物が欲しくなるとせがんで買ってもらっているようです。

**野中** 本人の障害年金の口座は誰が管理しているのですか？

**Gさん** お母さんが管理しています。

## 粗暴行為と対人関係について

**発言** 「家族への粗暴行為」というのは、具体的にはどのようなことですか？

**Gさん** 「物を壊す」とお母さんはよくおっしゃいます。たとえば、新しいテレビが欲しくなると、まだ映るものでも壊してしまい、新しいものを買ってもらうというパターンがあるようです。ご自宅には、映らないものも含めて3台のテレビがあります。

**発言** 最近でも粗暴行為はみられますか？

**Gさん** ここ数カ月はないようです。

**野中** 19歳のときの放火というのは？

**Gさん** 本人が家の中で灯油をまいて火をつけました。すぐに消したのでボヤで済みましたが。

**野中** 本人が消したのですか？

**Gさん** いえ、父親です。

**野中** 灯油をまいた理由は？

**Gさん** そこは聞いていません。

**野中** 機会があれば聞きたいところですね。

**Gさん** わかりました。

**野中** その後の入院はどんな経緯ですか？

**Gさん** 授産施設がちょうど夏休みに入るところで、お母さんからの依頼もあり、放火騒ぎもあったことだし入院しましょうか、ということになったようです。

**発言** 家庭以外でトラブルが起きたことはありましたか？

**Gさん** 施設の作業を休んだりということはありませんが、対人関係でのトラブルはありません。

**発言** 本人の友人関係を教えてください。

**Gさん** 授産施設に2人友達がいると言っていたのですが、実際に3人で会っているところを見ると、それほど親しい感じはしませんでした。

**野中** その2人の年齢と性別は？

**Gさん** 2人とも男性で同年代の方です。

**発言** その人たちとどこかに一緒に出かけたりすることもあるのですか？

**Gさん** そこまでの付き合いではないようです。

**野中** 女性の友人や恋人などは？

**Gさん** 一度も話に出てきたことはありません。

## ふだんの生活について

**発言** ふだんの生活リズムを教えてください。

**Gさん** 朝は7時半頃にお母さんに起こされます。8時過ぎに家を出て、授産施設のバスに乗って施設へ行き、9時から15時半まで施設で働いています。帰日も施設のバスに乗り、16時頃に帰宅。その後は、テレビでアニメを見たり、インターネットをしたりして夜まで過ごし、寝るのは12時から1時くらい。平日はだいたいそんな感じの1日を過ごしているようです。土日は朝から障害者情報センターかゲームセンターに行き、帰宅するのは22時くらいです。

**発言** 障害者情報センターやゲームセンターへの往復の手段は？

**Gさん** 市営バスに乗って往復しています。

**野中** バスに自分で乗れるのですね。

**Gさん** はい。大丈夫です。

## 既往症について

**発言** てんかんの初発はいつでしょうか。また、現在はどのような状態ですか？

**Gさん** 初発の年齢はわかりません。長い間発作はなかったようなのですが、今年の5月の入院中に2回目の発作がありました。

**野中** どんな発作ですか。

**Gさん** 身体が硬直して意識喪失したようです。

**野中** 大発作ですね。意識喪失していた時間と発作の起きた時間帯はわかりますか？

**Gさん** 意識喪失時間は聞いていませんが、時間

帯は午後だと思っています。

**野中** 昼型けいれんですね。しかし、ずっと発作がなくて、なぜ今回起きたのでしょうか。医療面の見立ては聞いていますか？

**Gさん** いえ、聞いていません。

**野中** 少し引っかけますね。一度確認しておくといいでしょう。

**Gさん** わかりました。

## 家庭の状況について

**発言** どのような住居にお住まいのですか？

**Gさん** 市営団地です。間取りは2DKです。

**発言** お父さんは今は無職ということですが、家の中ではどんな役割を担っていらっしゃるのでしょうか。

**Gさん** お母さんは身長は155cmくらいですが、体重がおそらく100kgくらいあって、太りすぎのために腰が悪く、家の中のことができません。そのため、家事全般をお父さんがやっています。

**野中** ほう、具体的には？

**Gさん** ごはんも作りますし、洗濯もします。買い物もお父さんが行っています。唯一、掃除だけは苦手なようです。

**野中** 父親は健康面の問題はないのですね。

**Gさん** はい。いたって健康のようです。

**発言** 両親は本人の現在の状況や今後について、どのように思っているのでしょうか。

**Gさん** 今回かわらせていただくための契約をしにご自宅を訪問した際、お父さんが本人の中学校時代の写真を持ってきて、「昔はこんなにいい顔をしていたんだよ」とおっしゃっていました。やはり、お父さんのなかでは本人に変わってほしいという思いはあると思います。お母さんから、「Aには仕事をしてほしい」という話が何度か出たことがあります。

**野中** 父親は元露天商ということですが、いつ頃から、どういうきっかけで家の中の仕事をするよ



うになったのかわかりますか？

**Gさん** いつ頃からかは聞いていませんが、お母さんが腰痛でできなくなったことが要因としては大きかっただろうと思っています。

**野中** ということは、母親の腰痛が父親を家に引き留めているという見方もできるわけですね。

**Gさん** はい。ただ、ご本人が暴れ出すと、お父さんはいつも「俺はこの家を出て行って、一人で生活する！」と言うそうです。それで不安になって、お母さんはいろいろなところに電話をかけまくるというパターンがあるようです。

**野中** 「出て行く！」と言って、本当に出て行くのですか？

**Gさん** そう言いはするのですが、結局は出て行くことはなく、自然に3人で暮らしています。

**野中** なるほど。それがこの家族の関係性ですね。そのパターンが見えると、大きなケンカをしても驚く必要はないとわかってきますね。

**発言** お母さんは本人が就職したときも不安になって、店長の自宅に電話をかけたんですね。

**Gさん** そうなんです。とにかく不安なことがあると、いろいろなところに電話をかけます。病院、地域活動支援センター、授産施設、保健所、いのちの電話など、これまでかわりのあった機関に片っ端から電話をかけまくります。

**発言** お母さんの統合失調症の発症時期はわかりますか？

**Gさん** 発症時期はわかりませんが、平成4年の受診が初診のようです。

**野中** おそらく、息子が小学校の特殊学級に入る時期になって専門家とのコンタクトが生じ、そこでお母さんも受診するように促されたということでしょう。お母さんの病院は別ですか？

**Gさん** いいえ、ご本人と一緒にです。ドクターも本人の主治医と同じ方です。

**野中** なるほど。現在は症状は落ち着いているのですか？

**Gさん** はい。服薬もきちんとしています。

**発言** ご本人は、両親と暮らしていることについてどう考えているのですか？

**Gさん** 本人は「どうしても3人で暮らしたい」と言っています。

**野中** 理由は何ですか？

**Gさん** 少し前にお母さんに胆石が見つかって入院するかもしれない状況になったときに、本人がすごく不安がるので、何が不安なのかと聞いたところ、「お母さんが入院したら公共料金の支払いが困る」と言っていました。何が困るのか現実的にはわかっていないけれども、両親が一緒にいないと不安な気持ちがあるのだと思います。

**発言** ご本人は自分の将来に対して、どんなイメージをもっているのでしょうか。

**Gさん** 正直、その点はこれから聞いていこうと思っていたところです。これまでは関係づくりに精一杯という状況でした。

## プランニングと モニタリングについて

**野中** ここまでのやりとりで21歳のA青年と両親の置かれている状況が徐々に見えてきました。このあたりでプランニングを考えていきましょう。まず、Gさんたちが立てたプランとこれまでの取り組みを教えてください。

**Gさん** はい。今から4カ月ほど前にプランを立てたときは、大きく6点の取り組みを掲げました。①パソコンを利用したかわりをする（インターネットが使える、ホームページを開くなど、本人の得意な領域なので）、②仕事探しをする（授産施設での作業能力も高いため）、③車の試乗をする（ゲームセンターでレーシングゲームを好んでやっているため、バーチャルの世界から出て現実を体験してもらう）、④母親への対応をする（Aさんの支援をする上でも母親の状態の安定が重要なため）、⑤母子で銭湯へ行く（母子ともに整容面で大きな問題があるため）、⑥土日の過ごし方

を詳しく把握する（プライベートな時間の過ごし方や本人の好きなことを把握し、今後の支援につなげていく）です。

**野中** そのプランを試した結果はどうでしたか？

**Gさん** まず、①のパソコンを利用したかわりは、メールのやりとりを2回ほどしました。しかし、本人の理解のなかではメールを送るとお金がかかると思っているようなので、以後はこちらから情報を伝える手段として使うことにしました。②の仕事探しについては、授産施設内の作業にかなり意欲的に取り組んでいるということなので、無理に授産施設から離さないほうがよいと判断し、施設で出た給料からお母さんにプレゼントをしようというプランに修正しました。③の車の試乗は、ディーラーに行って試乗をさせていただきました。これは大好評で、「また連れて行ってほしい」とリクエストをもらっています。

**野中** 何の車に乗ったのですか？

**Gさん** フェアレディZです。日産は必ずディーラーの方が同乗しなければいけないという決まりになっているので、ディーラーの方に運転をしていただき、本人は助手席に、私たち援助者は別の車でその後をついていきました（笑）。

**野中** そういう社会資源の使い方があるのですね。いいアイデアです。

**Gさん** 試乗した後に、「この車に乗りたい？」と聞くと、「はい！」とすごくいい笑顔で返事が返ってきました。

**野中** モチベーションを高める上でもいい方法でしたね。④の母親への対応は？

**Gさん** お母さんが訴えをする先の機関から情報を集約しようと思ったのですが、本人の状態が落ち着いているせいか、訴えそのものがほとんどなくなりました。

**野中** 問題が解決すれば訴えもなくなるというパターンですね。

**Gさん** そのようです。

**野中** その意味では、本人の問題に集中して取り

組めばいいわけですね。⑤の銭湯は？

**Gさん** 市営住宅から歩いていけるとところにスーパー銭湯があって、地域活動支援センターのスタッフがお母さんと一緒に行ったところ、「すごく気持ちよかった」と喜んでいました。1回500円ほどかかるので経済面での問題はあるのですが、なんとか清潔な状態にもっていけるようにしたいと思います。

**野中** ⑥の土日の過ごし方の把握はどうですか？

**Gさん** 把握するためには本人と一緒に動いたほうがいだろうということで、病院のスタッフ3人と本人の4人でゲームセンターに行きました。シューティングとか麻雀、スロット、レーシングゲームなどを一緒にやりました。その日は一日、とてもいい表情で話してくれました。

**野中** 全体としてプランがかなり奏効したようですね。その原因は何だと考えていますか？

**Gさん** おそらく、本人にはこれまで友達らしい友達がいなかったのだと思います。そのため、私たちが一緒にゲームセンターに行ったり、車の試乗をするなど、友達のようにかかわったのが影響しているのかな、と思います。

**野中** そうですね。援助者が友達のように行動をとることにによって、本人の状態がよい方向に変化してきたということでしょうね。では、これまでの情報をもとに、会場の皆さんからもプランのアイデアをいただきましょう。Gさんたちが取り組んでいることに加えて、どんな支援があるといいと思いますか？

## さらなるプランニングを行う

**発言** お話をお伺いしていると、仕事面での集中力も出てきているようですので、そろそろ就労支援に力を入れていってもいいのかなと思いました。たとえばハローワーク見学とか。

**野中** そうですね、就労に関する情報をガイダンスしておくのは重要ですね。

**発言** 遠い目標かもしれませんが、本物の車に乗って動機づけられているところですし、免許の取得は考えられないでしょうか。

**野中** Gさん、いかがですか？

**Gさん** それは私たちも考えていました。ただ、お金もかかる話ですので、3～4年という単位で考えています。

**野中** 4年後で25歳、遅くはないですね。それまでに貯金をしようという目標も作れますね。てんかんの人の免許取得の条件は何ですか？

**発言** 2年間発作が起きなければチャレンジできます。

**野中** ありがとうございます。そういう意味でも、3～4年単位で考えていくというのは妥当かもしれませんね。ほかにはいかがでしょう。

**発言** 支援者以外の友達、できれば就労している友達を見つけられればいいなと思いました。

**野中** 就労者は周囲にいますか？

**Gさん** 近くに通所リハビリがありますので、そこに行けば就労している方はいらっしゃいます。

**野中** ハローワークと一緒に通所リハの見学もコースに入れてしまう手もありますね。

**発言** 授産施設で自分のホームページを披露したりすれば、友達づくりのチャンスも広がるのではないのでしょうか。

**野中** 「スゴイ！」と褒められれば、自己評価も上がりますしね。いいアイデアです。

**発言** 金銭管理の自立をめざす必要はないでしょうか。

**野中** 大切ですね。具体的には何をしますか？

**Gさん** そうですね。当面、毎月の小遣い帳をつけてもらってはどうかと思います。

**野中** 事例検討をしていると、よくそのアイデアが出てくるのですが、小遣い帳をつけて金銭の自己管理ができるようになったケースは見たことがありません（笑）。やはり、まずは銀行の使い方をきちんと覚えてもらって、障害年金の全額を自己管理する方向にもっていくことが大切です。

**Gさん** わかりました。

**発言** 将来的には独立した生活を考えていったほうがいいのではないかなと思うのですが。

**野中** 大切な視点です。そのためには、どんな準備が必要ですか？

**発言** 料理や掃除、洗濯などの日常生活能力を上げること。

**野中** そうですね。ADLを一つひとつ高めていく。ほかには？

**発言** 服装や整容の面も改善したいと思います。就労するためにも大切だと思うので。

**野中** Aさんは床屋さんには定期的に行っているのですか？

**Gさん** いいえ、行きたがりません。

**野中** 髪はどうなっているの？

**Gさん** 脂ギッシュな七三分け（笑）。

**野中** 車の試乗やゲームセンターと同じように、Gさんたちが「男の身だしなみ教室」をやってはどうか？

**Gさん** そうですね。服なども私たちが一緒に買いに行ってもいいと思います。

**発言** 金銭管理ができることが条件になりますが、以前あきらめてしまった携帯電話を再度利用できるようにめざすというのはどうでしょう。

**Gさん** 私たちも、Aさんの年代の人は持っているのが当たり前ですから、もう一度持てるようにしたいと思っています。

**発言** お母さんの健康面が気がかりです。保健師さんにもう少しかかわっていただければどうかと思いました。

**野中** 保健師はかかわっているのですか？

**Gさん** もともとヘルパーさんがお母さんにかかわっているのも保健師さんからの依頼でした。前面には出ていませんが、現在も状況把握はされていると思います。

**野中** では、ぜひ支援チームの一員に入っていたかどうかいいですね。

**Gさん** はい。

**発言** ご本人が独立するということは、ご両親にとっては二人で暮らしていくことになると思いますので、ご夫婦の新しい生活をつくっていく支援があってもよいかなと思いました。

**野中** 具体的にはどんな方法があるでしょう。

**発言** 夫婦で旅行に行っていただくというのはどうでしょう。

**野中** それはいいアイデアですね。それを目標にしてモチベーションを高めてもらうこともできま

すね。さて、皆さんからいろいろなアイデアが出ましたが、いかがですか、Gさん。

**Gさん** たくさんのアイデアをいただき、ありがとうございました。Aさんは車がすごく好きで、今は試乗をしたばかりで気持ちも盛り上がっているところですので、貯金のことや免許のこと、整容のことなど、とりあえずは車と結びつけるかたちで生活を拓けていけるといいなと思いました。今日はありがとうございました。

